

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校
プロジェクト通信



令和3年5月31日
NO.2 文責 河村

キャリア

たまねぎ農家 中村さんのお話



5月19日(水), 5年生の総合的な学習の時間の一環で、たまねぎ農家の中村さんの畑をお借りして、たまねぎの苗植えの作業を行いました。昨年度は新型コロナウイルスの影響で、5～6月の作業を行うことができませんでした。苗植えの作業に関しては、2年振りの取組となります。

まず最初に、中村さんから「たまねぎの一生」について、お話を伺うことができました。

「種をまいて、苗が育って、土の中にたまねぎが実ります。そのたまねぎが冬を越し、また芽が出し、花を咲かせ、種をつけます。つまり、たまねぎは2年間かけて次の世代の種をつくっています。みんながふだん食べているたまねぎは、種をつくる前の命をいただいているんだよ。」(とても貴重なお話でした!)

また、たまねぎを育てる農家だけではなく、たまねぎの種を育てる農家がいるということ、たまねぎを育てるために、様々な人たちの力によって成り立っていることについても教えていただきました。

その後は、苗の植え方のポイントをわかりやすく解説していただき、実習の準備作業に入ります。「茎の白い部分の半分が土に埋まるように…」「根が土から出ないことが大切。でも葉が土にかぶるまで深くしないように…」中村さんの適切なアドバイスに、子どもたちは真剣に耳を傾けます。

さあ、一人60本の苗をもらって、作業スタート!最初は、ゆっくりと慎重に作業を進めていた子どもたちでしたが、後半は作業効率も上がりどんどんペースアップ!最終的には、中村さんに用意していただいた畑に、きれいに苗植えの作業を仕上げることができました。

たまねぎの苗植えの実習だけではなく、「命に感謝していただく」ことの大切さを、中村さんとの出会いの日に教えていただくことができた貴重な時間となりました。

